



# 未来を夢見て Season3

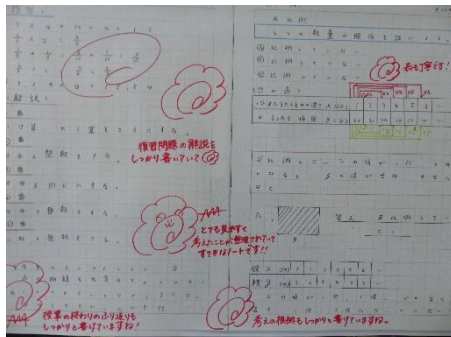
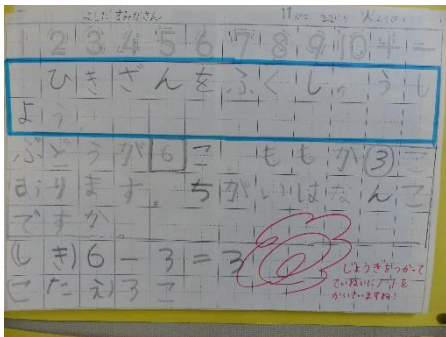
2022/12/1 No. 166

## 12月 クリスマスツリー・クリスマスリースのある風景から

今日から12月。寒い朝を迎えましたが、子どもたちの礼儀正しい挨拶に元気をもらいます。昇降口には、図書ボランティアの皆様がクリスマスツリーを準備してくださいました。また、校内の掲示物にもクリスマスリースが飾られ、年末の風情が漂う小野小学校になりました。写真右は印刷スペースの整理棚、大澤先生が忙しい先生方に代わってきれいに整頓してくださいました。



さて、職員室前の掲示物もクリスマスに関するものが増えていますが、各学級のノートコーナーも充実しています。写真は1年生と6年生、どちらも模範となるようなきちんとしたノートで感心させられました。今はタブレットが学習道具の主流になりつつありますが、やっぱりノートが基本。ノート指導を大事にしてきた小野小学校の校内研究のよき伝統は新研究になっても引き継がれていますね。



ところで今週は5年生がTBCに見学に出かけています。どうしても帰りが給食の時間ぎりぎりになってしまうので心配していたら、先生方が見事な連携プレーで、子どもたちが帰ってきたらすぐ給食を食べることができるように準備してくださいました。

最初は、先生方だけ進めていた準備ですが、今日5年4組に伺ってみると、5年生の他の学級の子どもたちも4組の給食の準備に関わってくれていました。そんな中、やっぱり存在感抜群なのが浩一先生。いつも子どもたちや先生方の真ん中において、

「んめだず、ありがどな。サンキュウ」と威勢のよい声をかけながら作業をてきぱきと進めてくださっていました。浩一先生を師と仰ぎ、日夜浩一先生の後姿を追っている恭将先生も、側で感心しながら「浩一流子どもの人心掌握術」をしっかりと盗んでいるかのようでした。



(文責：手代木)